研修名　自然と保育研究研修１　里山の暮らしから自然を感じる
平成 27 年　5 月 20 日（　水　）午前　10：00～15：00

「田植え体験と草花あそび・里山散策」
講　師　細見　均　氏

１　田植えとふくろ飯づくり（午前）

ＡとＢ２班に分かれて交互に実習をする
《Ａ班》　　田植えの後　ふくろ飯づくり
《Ｂ班》　　ふくろ飯づくりの後　田植え

１）田植え　講師説明後、田植えに取り掛かる。
初めての人がほとんどで田んぼの中の感触・小さな生き物の発見・捕まえてみる・触れてみる等を体験
①捕獲した生き物
アカハライモリ、トノサマガエル、コオイムシ、アメンボウ等

２）ふくろ飯（めし）づくり
①レシピにそって各々味付けをする。
②薪で火をおこす。
③羽釜（はがま）のお湯が沸いたら、ふくろ飯を入れ 30 分ゆでる。
④羽釜から取り出したふくろ飯を 10 分蒸らす。

２　**野外炊飯**　各園の情報交換（昼食）

参加者各自、１分で園での自然にかかわる取り組みについて述べた。

３　**里山散策と草花あそび（午後）**

１）里山散策

講師の細見先生の案内で山歩きをしながら草花、木の名前、人間の生活とのつながりについて学んだ。

２）草花あそび

道端にはえているシロツメクサでかんむり作りをしたり、たんぽぽ笛を吹いてみたり身近な自然物での遊びを経験しました。

感想

自然を感じることのできる体験型の研修で、他の園と交流し情報交換ができたことや、「初めての体験」がどれだけ心躍ることであったかまた、遊び込んだ後の満足感を思い出す、よい機会になったのではないかと思う。保育士自らが楽しんで子どもと接することの大切さを改めて学んだ。

（記録　タンポポハウス　桑原　町子）